

NEW

エール通信



号外！！

- 企画・編集・発行
福島市ロケツアーリズム推進会議事務局
- 発行部数
事業所数 238事業者
配信人数 432名
- 発行日時
令和2年12月7日

12月4日の福島市議会での質問に対して、木幡市長から『**来春から朝ドラの舞台となる気仙沼市などと連携した観光プロモーションを実施する**』と表明されましたね！『NEWエール通信』号外として、気仙沼市などとの連携の方向性についてお知らせします♪

現在交渉中のため、未確定の部分が多く、本号でお伝えできる内容はまだまだ少ないのですが、皆さまにいち早くお伝えさせていただきます！！

次年度も積極的に『朝ドラ』を活用することで、地域の活性化や自社ビジネスの成長につなげて頂ければ幸いです♪

1. 連携イメージ

・来年は震災復興10年となりますので、震災復興の象徴となった朝ドラ『エール&おかえりモネ』の連携で誘客プロモーションを行っていく予定です。

2. 連携目的（福島市側）

・『朝ドラの舞台』である気仙沼市と福島市などがタッグを組み合わせながら誘客活動を行うことによって、コロナがなければ本来得られるはずだった今年4月からの朝ドラ経済効果の利益を、次年度に獲得できるようにすることです！

また、積極的に進めている『古関裕而のまち福島市』を、さらに多くの方々を知っていただく機会にしたいと考えています♪

3. 注目度👁️

・震災10年。被災地朝ドラの舞台が手を取り合い、プロモーションを行えば、全国から注目して頂けると思いますので、気仙沼市や福島市への来訪意欲が高まる可能性大！

・シリーズが異なる朝ドラの舞台どうしが連携することは、全国的にも例が少ないことから、朝ドラファンの期待が高まり、気仙沼市や福島市への来訪意欲が強くなる可能性が高まります♪

・コロナにより、来たくても来られなかった朝ドラファンの方々が、おかえりモネとエールの舞台が手を携えたことで、強い共感を引き起こし、より来訪したい！という気持ちを引き出すことができます♪

4. 連携の方向性（案）

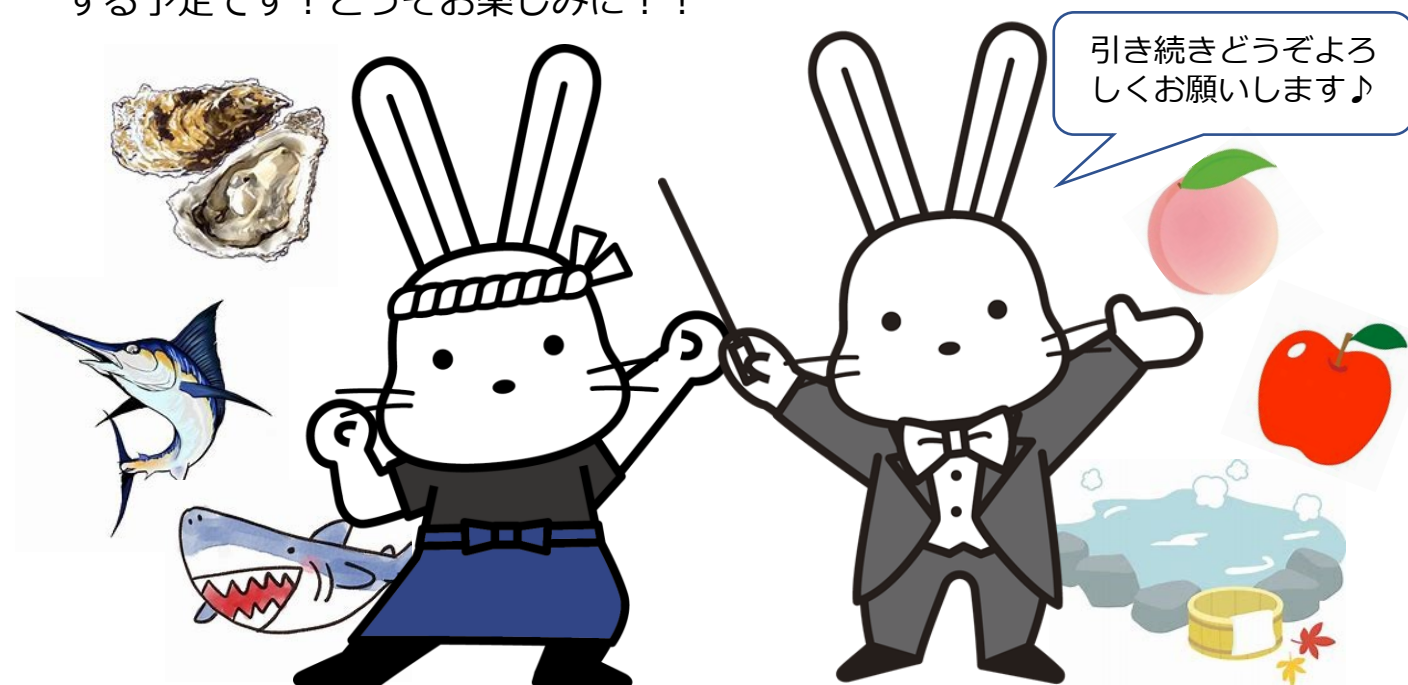
（現在交渉中のため、未確定部分が多々あることをご了承ください）

- ①朝ドラファン・エールファン・おかえりモネファンなどが、気仙沼と福島のどちらにもご来訪頂けるような共同誘客キャンペーン♪
- ②気仙沼と福島の事業者が相互利益を享受できるような、共同販売や共同商品づくり♪
- ③宮城県の方々の福島県への来訪、福島県の方々の宮城県への訪問、朝ドラ連携によるマイクロツーリズムなど、相互利益の獲得♪
- ④その他、地域づくりで相互利益が期待できる分野での積極的な連携♪

5. 今後のスケジュールについて

連携内容が確定しましたら、関係者様や事業者様向けの説明会、それぞれの事業者様向けのマッチング商談会を行います！その際にはエール通信などご紹介してまいります。引き続きよろしくお願ひ致します♪

また、デジタルマーケティングがとてつも進んでいる気仙沼市のノウハウ勉強会等、この機会に先進的な取組みを学べるポストコロナを見据えた取組みも準備する予定です！どうぞお楽しみに！！



♪まだまだエール♪

福島市観光コンベンション推進室（鈴木祐二）TEL:024-572-5718

E-mail:yuuji-114@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市観光コンベンション協会（金澤千裕）TEL:024-563-5554

E-mail:chihiro-k@f-kankou.jp